



Megaptera

発行；小笠原ホエールウォッチング協会 東京都小笠原村父島字西町 04998-2-3215 (FAX兼用) メガプテラ=ギリシャ語で「大きなヒレ」



十二月二十五日 今シーズン初めて撮影されたザトウクジラの尾ヒレと背ヒレ

撮影・小笠原海洋センター



「今年も来たヨー！」 ザトウクジラ嫁島沖で「あいさつ」

いよいよ小笠原のホエールウォッチングもシーズン・イン。
今シーズンは、平成三年十二月十九日に父島の漁師、萩倉泰夫さんからクジラ発見の第一報をいただきました。

Q 「クジラを見た場所と日時は？」

A 「十二月十九日昼過ぎだったね。」

(聳島列島) 嫁島の西側二、三〇〇メートルで曳縄をやった時だ。」

Q 「その時のクジラの様子は？」

A 「二頭いた、頭の三分の二くらいを出したときもあった。五分くらい見たかね、南に向かっていったよ。」

Q 「生まれて初めてクジラを見たのはいつ頃ですか？」

A 「三〇年くらい前だね。その頃静岡の清水にいて、マグロ船に乗っていたんだ。赤道付近に漁に行った時見た。いや違うな、その前にマグロ・カツオ兼用船に乗ってた時だ、金華山沖で見たよ。種類はわからないな。まだ船に乗り始めたころだったから船酔いがひどかった。」

Q 「ホエールウォッチングがブームですが、何かご感想は？」

A 「俺は漁師だから。でも本当に大きいのがいるね。漁をやっていると、すぐ近くで潮を吹くよ。」

日焼けしたお顔と、釣りの仕掛けを作りながらのお話、いかにも漁師らしい萩倉さんへのインタビューでした。

この日を境に、続々とクジラ観察情報協会が届いています。今年も小笠原にザトウクジラは来てくれました。ホッ！（と一安心の事務局です）